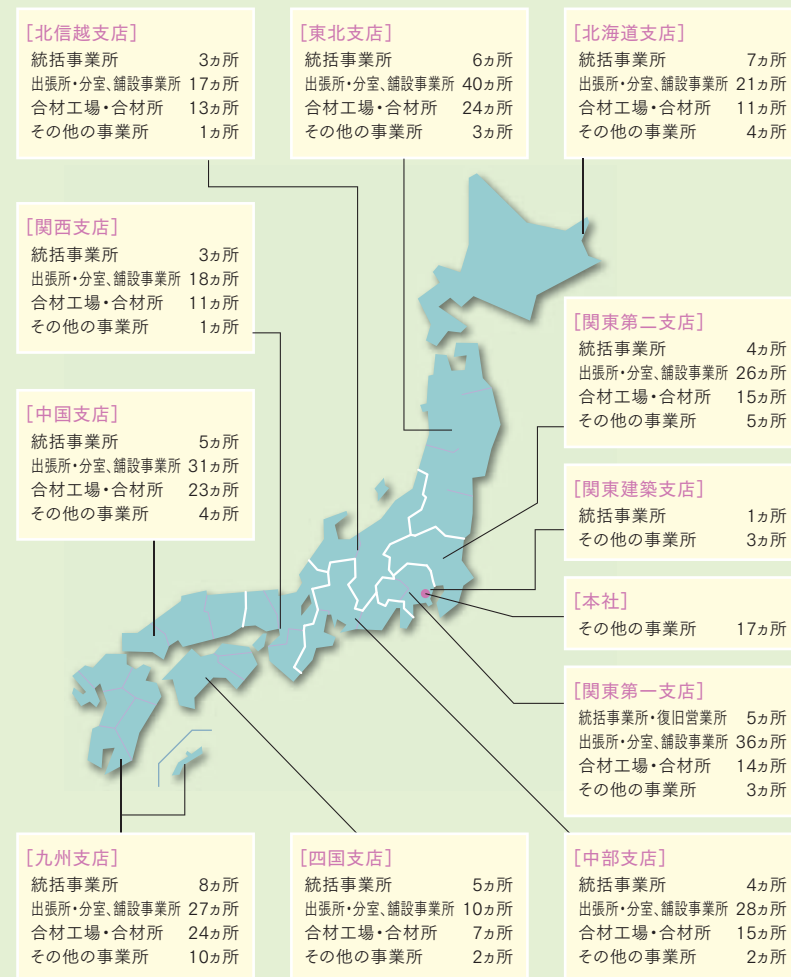


社名：株式会社 NIPPO (2009年7月1日)
 英文社名：NIPPO CORPORATION
 設立：1934年(昭和9年)2月
 本社所在地：〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11
 TEL 03-3563-6751(代表)
 代表者：代表取締役社長 水島 和紀 (2009年6月23日)
 資本金：15,324百万円
 事業内容：建設事業、アスファルト合材等の製造・販売事業、
 開発事業およびその他の事業
 従業員数：2,370名(男性2,265名、女性105名)
 ホームページ：http://www.nippo-c.co.jp/

株式会社NIPPOはアスファルト舗装工事を中心とする舗装・土木工事およびアスファルト舗装の材料であるアスファルト合材の製造・販売を中核事業としています。
 舗装・土木工事の対象は、一般道路、高速道路、レーシングコース、空港から、市民の憩いの場となる公園、テニスコート、サッカーグラウンド、さらには庭先舗装まで広範囲に及びます。また、製造したアスファルト合材は当社の工事で使用するだけでなく、ほかの舗装工事業者にも販売しています。
 このほか、マンション等の建築工事、戸建てをはじめとする宅地や都市型マンションの開発事業、石油精製などのプラントエンジニアリング事業および土壌浄化事業等の戦略事業を取り込み、事業基盤を強化しています。

事業所一覧

(2009年4月1日現在)



CSR活動への取り組み

- 1934 日本石油(株)道路部と浅野物産(株)道路部の合同により「日本舗道株式会社」を設立
- 1993 企業行動倫理委員会設置
- 1994 環境保全活動推進のための諮問機関として環境管理委員会を設置
企業理念・行動指針制定
- 1995 シンボルマーク改訂
- 1998 環境に関する基本理念と行動指針を表した環境保全活動指針を制定
- 2003 日本舗道株式会社が、新日石エンジニアリング株式会社を分割統合して「株式会社NIPPOコーポレーション」に商号変更
法令遵守(コンプライアンス)体制構築
- 2004 環境報告書創刊
- 2005 CSR体制構築
- 2006 企業理念・行動指針改訂
- 2007 CSRレポート創刊
- 2009 「株式会社NIPPO」に商号変更(7月1日)

売上高



総資産額



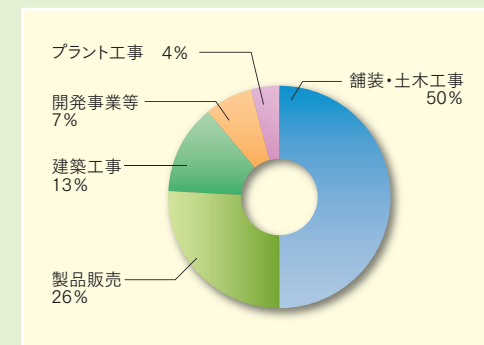
経常利益



従業員数



事業分野別売上高(2008年度)



CONTENTS

- 会社概要 1
- トップコミットメント 3
- NIPPOの事業 5
- マネジメント報告
 - コーポレート・ガバナンス 7
 - CSRマネジメント 8
 - コンプライアンスと品質保証体制 9
- 環境・安全報告
 - 安全管理 10
 - 環境マネジメントシステム 11
 - 舗装事業における環境保全活動 13
 - 舗装事業での環境・安全技術 15
 - 戦略事業における環境・安全配慮 17
- 社会性報告
 - お客様の信頼を得るために 19
 - 従業員とのかかわり 20
 - 社会とのコミュニケーション 21
 - 第三者意見 22

編集方針

CSRとは、Corporate Social Responsibilityの略で、「企業の社会における信頼性」と訳されます。このCSRレポートでは、株式会社NIPPOが社会から信頼されるために取り組んでいる活動を紹介し、一般の方にとってなじみの薄い建設業を事業活動の中心とする株式会社NIPPOと、経済、環境、社会との関わりについて、多くの方々から知っていただくことを編集の基本方針としています。
 このレポートをツールとして当社と関わる多くの方々とのコミュニケーションをさらに充実させていきたいと思ひます。

対象範囲と対象期間

対象範囲：株式会社NIPPOの本社、支店11カ所、統括事業所・復旧営業所51カ所、現業事業所466カ所(海外を除く)。
 対象期間：2008年度
 (2008年4月1日から2009年3月31日)
 一部には、時期を明示した上で2008年度以前の情報と2009年9月までの最新情報を掲載しています。

CSRを徹底するとともに 地球温暖化対策に貢献していきます

CSRを徹底し 「確かなものづくり」を実現します

このたび、第9代社長に就任した水島です。当社は、創立75周年の大きな節目の年を迎え、これを機に2009年7月1日に社名を「株式会社NIPPO」に変更しました。CSR活動を徹底して、当社の企業理念である「確かなものづくり」の実現に向け、先頭に立って取り組む所存です。よろしくお願いたします。

企業理念にある「確かなものづくり」の確かなとは法令遵守や品質保証、安全管理、環境保全等についての要求事項を満たすことをいいます。それは、単に直接関係する方々に対してだけでなく、市民・住民などの第三者からの要求事項も含まれます。道路建設業は、公共的な事業です。その事業を担う当社は、この企業理念を浸透させ、それを誠実かつ確実に実践して、取り組まなければなりません。そのため、シンプルで具体的な「企業行動5つの誓い」を全事業所に掲示し、現場で働く従業員全員が毎日ミーティング時に唱和して、従業員一人ひとりに対し、意識改革を浸透させる取り組みを行っています。また、「CSRの徹底」と「適正な利益の確保」を両立するための研修制度の充実を図るとともに、社内組織についても、内部統制部や品質保証・業務改善部などを設置し、内部統制機能の強化への取り組みも進めています。CSRの推進体制の要となるCSR委員会には主要関係会社と協働したNIPPOグループCSR委員会も含まれており、グループ全体という視点でも着実にその徹底を図っています。

安全はCSRの重要な要求事項です。「人の命を守る」これは、企業として最も優先すべき社会的責任であり、「重大な災害を起こさない」という強い決意で臨みます。重大

な災害は、全て繰り返し型で、起きるところが決まっていることを考えれば、絶対に防ぐことができるはず。信念を持って取り組みます。

CSR活動そのものが、「確かなものづくり」に直結することと位置付け、過去に起こした不祥事や事故を繰り返さないという強い意志のもと、従業員が一丸となって取り組んでいきます。そして、社会から期待される企業、適正利益の確保により永続的に発展できる企業になっていけると信じています。

地球温暖化の防止に貢献します

地球温暖化が深刻化する中、企業活動において発生する温室効果ガスの排出量削減には、経営の大きなテーマとして、取り組んできました。毎年の業務運営計画は、環境保全活動計画を含めて策定していますが、その際、オフィスにおける電気使用量の削減やエコドライブの推進、工場での燃費の改善、各現場での使用材料のロス率の削減などの諸施策を計画に織り込み、全国に展開する500以上の全事業所でPDCAを回して取り組んでいます。また、従業員一人ひとりが、身の回りのムダを減らす活動や、自らの業務の再点検による業務改善に取り組み、併せて、その成果を検証できる体制を構築し、日常活動としてすでに定着しています。

人為的に排出されている温室効果ガスの中で最も影響が大きいとされるCO₂の削減については、当社の持つ優れた技術力を背景に貢献していきます。これまで、開発してきた環境配慮技術・工法を中期経営計画において数値目標として掲げておりますが、その一つに中温化技術があります。この技術は、通常160℃程度で製造するアスファルト

合材の品質を低下させることなく、130℃程度で製造する技術で、CO₂排出量を約15%削減できるものです。日本で1年間に出荷される全アスファルト合材に適用すれば、年間15万トンのCO₂削減が実現できます。また、遮熱性舗装などの環境配慮型工法は、主に都市部のヒートアイランド対策に有効です。夏季の昼間に60℃程度まで上昇する通常のアスファルト舗装の路面温度を10～15℃下げることができます。ヒートアイランド対策は世界に共通する課題でもあります。当社が世界に先駆けて開発した遮熱性舗装は、国際道路連盟(IRF)が主催する世界道路功績賞を受

賞いたしました。当社の環境技術開発への取り組みが世界の舞台で認められたことを新たな責任と捉え、今後もあらゆる側面から、環境配慮技術の開発と普及に取り組んでいきます。

当社の環境方針は、「環境保全活動の継続的改善に努め、環境保全と経済活動の両立する持続可能な社会の実現に貢献する。」としています。この方針を確実に実行し、社会の期待に応えるべく、事業活動を展開してまいります。

株式会社 NIPPO
代表取締役社長

水島和紀

企業理念

わたしたちは
確かなものづくりを通して
豊かな社会の実現に貢献します

行動指針

- ・信頼を築く
- ・技を磨き、伝える
- ・夢をいただき、挑戦する

企業行動5つの誓い

- 法令遵守** その行為は法律に違反していないか
- 企業倫理** その行為は企業理念や倫理に違反していないか
- 社会常識** その行為は社会の常識か
- 社会の目** その行為は社会の目、安心、安全にそむいていないか
- 自分の心** その行為は間違いがないか、自分の心に問いかける

NIPPOの事業

舗装・土木事業とアスファルト合材の製造・販売事業から、戦略事業まで幅広く展開しています。

NIPPOの中核事業

舗装・土木事業

1934年の創業以来、人や環境への配慮といった視点から、独自の技術を活かした道路舗装・土木事業を行ってきました。同事業が売上高に占める割合は約50%にのぼります。近年では、交通量の増加や車両の大型化が進み、道路の維持・修繕の重要性は一層高まっています。これに伴い当社の事業も、「道づくり」を基盤に、市民生活とかわりあう様々な分野に広がっています。環境改善に対する社会の期待が高まる中、今後も生活者重視の視点に立ち、豊かな社会の実現に貢献していきます。



北関東自動車道 桜川西舗装工事



東京都港区 路面補修工事(遮熱性舗装)

製品製造・販売事業

全国157カ所にアスファルト合材の供給基地を持ち、資源の有効活用のため、舗装廃材のリサイクルシステムを構築しています。全国で年間498万トンの舗装廃材を受け入れ、全量を自社工場内で再資源化、再利用するシステムを構築し「循環」を完結しています。また、燃料のガス化や資材輸送の海上輸送への切り替えなど、CO₂を削減する新たな取り組みも始め、地域社会や環境への配慮に引き続き力を入れています。



鹿児島合材工場



越谷合材工場

戦略事業

建築事業

1983年から本格的に建築事業に取り組み、お客様からは組織力を活かした事業に大きな信頼を寄せていただいています。マンションやオフィスビル、店舗、工場、倉庫などの建設には十分な実績を積み重ね、多くの技術力を蓄えています。お客様のご要望や現場の状況に応じた綿密なコンセプトづくりから施工、メンテナンスまで、あらゆるニーズに満足していただける快適な空間を提供し続けます。



東京都杉並区
堀ノ内プロジェクト新築工事

エネルギー事業

新日本石油グループのエンジニアリング部門として、石油精製・石油化学・石油ガス装置や配管・タンクなどの付帯設備の設計、建設、監理を担っています。豊富なノウハウを活かし、環境負荷の少ないプラント設備の設計・建設や家庭用燃料電池の設置・メンテナンスなど、あらゆる可能性に積極的にチャレンジしています。



志布志国家石油備蓄基地侵入警戒設備更新工事に際し、志布志石油備蓄(株)のコンストラクションマネージャーとして支援

開発(住宅)事業

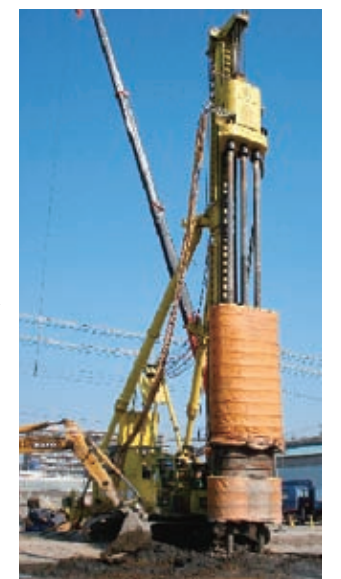
舗装・土木、建築事業で培ったネットワークとノウハウを活かし、デベロッパーとして安心、快適な街づくりに取り組んでいます。宅地建物分譲事業、マンション分譲事業「Le Cinq」シリーズ、オリジナル住宅事業「GRATIAE」シリーズ、賃貸事業「ABAS」シリーズなどを展開し、中核都市や都心部で安心・快適に過ごせる商品を今後も積極的に提供していきます。



東京都立川市
アークバス立川

土壌浄化事業

近年、重金属や揮発性有機化合物(VOC)、油などによる土壌汚染が見つかる例が増加しています。そこで、独自の土壌・地下水浄化システムできれいな大地を取り戻そうと、2001年に事業を開始し、2008年度には調査業務を含め567件を手がけました。地球の浄化能力を超えた汚染をなくし、未来の子どもたちに美しい地球を残すため、常に次世代技術の開発に取り組んでいます。



鉄粉の地下混合によるVOC処理工事